

高病原性鳥インフルエンザが 全国で続発しています！！

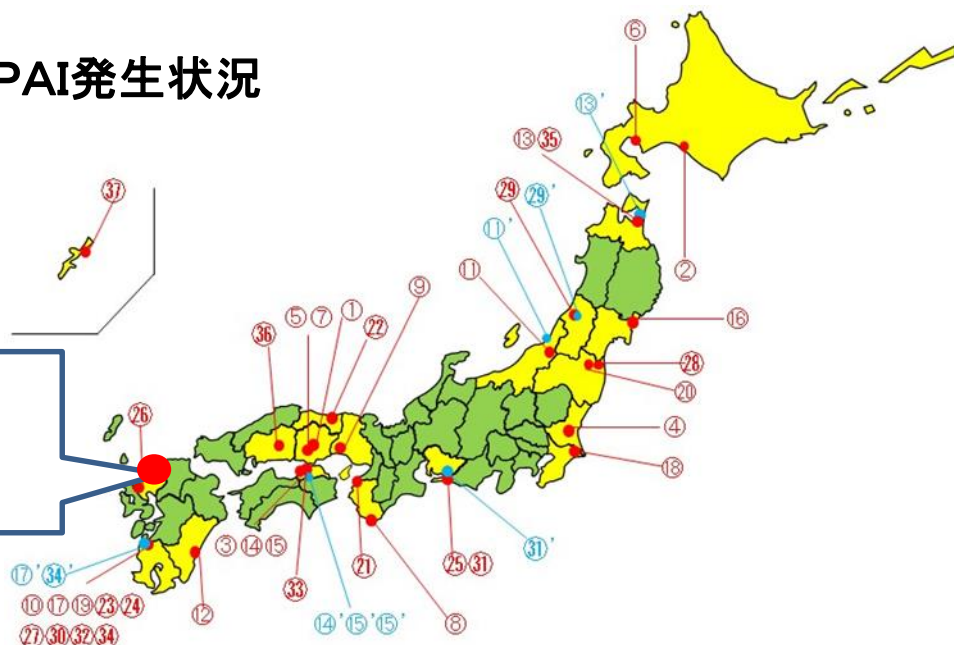
12月19日、福岡県糸島市久根市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の疑似患畜が確認されました。国内の農場や家きん飼養施設におけるHPAIの発生は今シーズン40例目となり、福岡県では初めての発生となります。

また、野鳥で117例、飼養鳥で4例、HPAIウイルス陽性が確認されています(12月16日現在)。

鶏などの家きんを飼われている皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。

今シーズンの発生で、死亡羽数が増加しているにもかかわらず、農場からの通報が遅れた事例が見られました。
通報の遅れはHPAIの更なるまん延につながります。
家きんの異常を発見した場合は速やかな通報をお願いします。

今シーズンのHPAI発生状況



福岡県糸島市
採卵鶏 約5.4万羽
※ 死亡羽数増加の通報